

令和4年度 経営改革プラン

団体名	神戸市道路公社
-----	---------

設立年月日	昭和46年4月21日	
団体の設立目的・沿革	道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、市内幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と経済の発展に寄与することを目的とする。	
団体の主な事業内容	事業名	所管課
	有料道路管理事業	自主事業
	駐車場管理事業	自主事業
代表者	理事長 名倉 重晴	

役職員数 (令和3年7月1日時点)	理事		監事		職員		合 計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	1	-	-	-		21	22
市派遣職員	1	1	-	-		38	40
市OB職員	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	2	1	-	3
合 計	2	1	-	2	1	59	65

財務状況(単位:百万円)	令和2年度	令和元年度	差引
経常損益	1,879	2,245	△ 366
税引後当期純利益	11	297	△ 286
流動資産	5,182	4,016	1,166
流動負債	2,526	3,071	△ 545
長期借入金(固定負債)	17,696	17,796	△ 100
期末現金預金残高	4,449	3,587	862

■中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	有料道路（六甲3路線、西神戸）、及び駐車場（神戸駅南、荒田公園、三宮中央通、大倉山）事業の着実な償還
ミッション②	安全・災害対策 ・安全・安心な道路を提供するための計画的かつ効果的な対策
ミッション③	渋滞対策など円滑な交通ネットワークの形成
ミッション④	経営の効率化

■短期的なミッション（令和4年度のミッション）

ミッション①	利用促進（需要喚起策の検討） ・新たな料金制度等の検討及び特に厳しい収支状況にある荒田・大倉山駐車場の利用促進
ミッション②	六甲3路線改築事業(R3~7年度)・長寿命化修繕計画の着実な実行
ミッション③	渋滞対策とアクセス強化に向けた事業スキームの検討
ミッション④	運営体制の最適化

■経営指標（令和2年度）

経営指標				令和元年度	令和2年度	前年度比増減
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	24.723	0.582	-24.1ポイント
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	1.16%	1.88%	0.7ポイント
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	1.39%	1.40%	0.0ポイント
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	152.64%	103.88%	-48.8ポイント
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	130.77%	205.11%	74.3ポイント
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	20.48%	20.32%	-0.2ポイント
持続性	自己資本当期純利益率(ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているか。	1.02%	0.04%	-1.0ポイント
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産)/当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	1.02%	0.04%	-1.0ポイント

■ミッション工程表

ミッション名	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度～		
中長期的ミッション												
有料道路（六甲3路線、西神戸）、及び駐車場（神戸駅南、荒田公園、三宮中央通、大倉山）事業の着実な償還	利用促進策の検討、実施											
	設備更新にあわせた省エネ、効率化（設計）						設備更新にあわせた省エネ、効率化（工事）					
安全・災害対策 ・安全・安心な道路を提供するための計画的かつ効果的な対策	六甲3路線改築事業の実施（令和7年度完了）											
	新たな通行止め雨量基準の検証									運用開始		
渋滞対策など円滑な交通ネットワークの形成	関係機関協議、検討等											
経営の効率化												荒田公園駐車場の移管
	運営体制の最適化の推進											
	箕谷駐車場の活用策検討、事業着手											
ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション												
利用促進（需要喚起策の検討） ・新たな料金制度等の検討及び特に厳しい収支状況にある荒田・大倉山駐車場の利用促進	周辺施設の市場調査、利用実態調査、分析						新たな料金制度、利用促進検討			関係者協議		実施
	積算、照査			発注、入札契約			工事					
六甲3路線改築事業(R3～7年度)・長寿命化修繕計画の着実な実行												
渋滞対策とアクセス強化に向けた事業スキームの検討	神戸市、関係機関との協議、調整、事業スキーム検討											
運営体制の最適化	業務改善の推進、外部人材の活用											

■ ミッションを踏まえた団体目標

目 標 及 び 実 現 方 法	<p>目標</p> <p>(できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)</p>	<p>①安全、安心、快適な有料道路及び駐車場を提供することで、市民福祉の増進と市内交通の円滑化に寄与するとともに、更なる道路ネットワークの形成や駐車場の利活用について、市と協力して対処していく。</p> <p>②有料道路事業で整備した施設の償還準備金の着実な償還を目指すべく、コロナ禍で減少した有料道路及び駐車場の利用台数を今後3年でコロナ以前の水準に回復させる。また箕谷駐車場の活用策を検討し、財源確保に努め、経営の健全化を図る。</p>
	<p>①六甲3路線改築事業を設計、発注、工事と年度ごとに計画的に実行し、令和7年度に完了させる。また既存施設の点検を令和5、6年度に実施し、修繕計画の更新を行い、長寿命化を図る。</p> <p>道路管理の新しい技術を先進的に取り入れることで、技術力向上や迅速な災害対応に取り組み、より効率的で効果的な管理手法を確立し、市へ還元していく。</p> <p>有料道路制度を活用した、山麓バイパスの渋滞対策や都心部における円滑な交通ネットワーク形成の検討を開始し、事業化に向けて市と協力しながら深度化を行う。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>②令和4年度に、組織再編に合わせて新設する利用推進係が、調査、分析、戦略、対策、情報発信のサイクルを構築し、社会ニーズにあった新たな料金制度の検討や社会貢献活動を実施していく。</p> <p>民間の力を活用し、箕谷駐車場の再編検討を行い、事業着手を目指す。</p> <p>ICT活用による事務効率化の推進、監査体制再編によるガバナンス強化、外部人材活用等により組織運営の最適化を図る。</p>	

■ 市支援策の活用状況

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	

■ ミッションの達成状況（団体自己評価）

（1）中長期的ミッションの達成状況

① 有料道路及び駐車場事業の着実な償還

有料道路事業で整備した道路や駐車場の着実な建設事業費の償還を目指すべく、道路・駐車場利用台数について、令和6年度（2024年度）にコロナ禍以前の水準（令和元年度（2019年度））に回復させることを目標に設定している。この目標に対し、令和4年度（2022年度）は有料道路および駐車場ともに、コロナから順調に回復してきており、荒田公園駐車場や三宮中央通り駐車場では、既に目標を達成した。

また、説明責任を果たすべく、未償還額などの経営状況を可視化し、経営状況の検証を行い、公社ホームページでの公表に向け準備をした。

【数値目標】

有料道路：令和4年度（2022年度）の1日平均通行台数は前年比+4.9%だった。（目標+4%/年）

駐車場：令和4年度（2022年度）の1日平均駐車台数は前年比+4.3%だった。（目標+4%/年）

有料道路：R3:69,861台→R4:73,279台（+3,418台（4.9%））・駐車場：R3:1,474台→R4:1,537台（+63台（4.3%））※箕谷除く

② 安全・災害対策

安全・安心・快適な有料道路の提供のため、六甲3路線改築事業を令和7年度（2025年度）完了を目指して実施しており、令和4年度（2022年度）は落石対策1斜面（16斜面のうち）、法面对策6か所（21か所のうち）、橋梁耐震補強4橋（13橋のうち）の工事を予定どおり完了した。

六甲山3路線における通行止め基準雨量として、直近24時間累積雨量について安全かつ適正な基準雨量（現行基準200mm以上）の設定を目標としており、現在、令和6年度（2024年度）の運用開始を目指して検討を行っている。

【六甲3路線改築事業の年次計画】

内容	令和3～4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
橋梁耐震補強	4橋	2橋	7橋		13橋
落石対策	1斜面	11斜面	4斜面		16斜面
法面強靱化対策	6か所	1か所	7か所	7か所	21か所

KPI	六甲3路線における通行止め基準雨量
（数値目標）	直近24時間累積雨量：安全かつ適正な基準雨量の設定（現行基準200mm以上）

③ 渋滞対策など円滑な交通ネットワークの形成

新神戸トンネル南伸部の整備により、神戸空港・神戸港へのアクセスの強化、広域的な道路ネットワークの形成により人流・物流の活性化、周辺一般道や高速道路出口等の渋滞緩和などの整備効果が期待できる。また、山麓バイパス東行きを新神戸トンネルに接続させることで、出口を増やすことができ、渋滞緩和に寄与すると考えられる。両事業の具体化に向けた取り組みとして、道路概略設計業務を神戸市より受託し、トンネル構造や線形などの検討を行った。

さらに、六甲北有料道路における渋滞の発生は、大沢料金所付近での年末年始並びにゴールデンウィークの周辺商業施設の繁忙期に限られている。渋滞が予想された場合は、事前に施設管理者と、来場者予想や警備員の配置計画、交通分散に関する来場者への周知等について調整を行い、また、実際に渋滞が発生した場合は、吉尾ランプ手前に標識車を配置し、利用者に吉尾ランプ出口経由を案内するなど、渋滞緩和に努めた。

④経営の効率化

事務のDX化等による効率化や総務事務の外部委託を進めることで民間資源を活用した経営の効率化を図った。道路維持管理においても、ウェアラブルカメラの活用による現場対応、kintone活用による作業所からの報告書作成などのDXの推進による事務効率化や、LED化による消費電力の削減、新技術を用いた橋梁の点検など効率的な維持管理手法を検討・実施した。

事業資産の有効活用として、特に利用が低迷している箕谷駐車場について、管理事業者等を通じて利活用の提案を求めるほか、イベント企画などの検討を行った。また、神戸市の行政課題を解決するために、神戸市からの要請を受け、新たな建設事務所の候補地として調整することとなった。

(2) 短期的ミッションの達成状況

①利用促進（需要喚起策の検討）

駐車場については、利用実態把握のため各駐車場周辺の駐車調査及び路上駐車調査の実施や、各駐車場の周辺施設（商店街など）へ営業活動の強化を行うとともに利用促進策の選定を行った。

また、道路については、近畿圏の5道路公社や沿線企業と連携したスタンプラリーや、道の駅と連携した大沢IC再入場割引の継続などを行い、利用促進に努めた。

②六甲3路線改築事業(R3~7年度)・長寿命化修繕計画の着実な実行

六甲3路線改築事業を令和7年度（2025年度）完了を目指して実施しており、令和4年度（2022年度）は落石対策1斜面（16斜面のうち）、法面对策6か所（21か所のうち）、橋梁耐震補強4橋（13橋のうち）の工事を予定どおり完了した。また、長寿命化修繕計画に基づき、令和4年度（2022年度）は橋梁10橋、トンネル1箇所の補修を予定どおり完了した。

③渋滞対策とアクセス強化に向けた事業スキームの検討

新神戸トンネル南伸部の整備により、神戸空港・神戸港へのアクセスの強化、広域的な道路ネットワークの形成により人流・物流の活性化、周辺一般道や高速道路出口等の渋滞緩和などの整備効果が期待できる。道路概略設計業務を神戸市より受託し、トンネル構造や線形などの検討を行った。また、道路公社として各種事業のスキームの検討を行った。

④運営体制の最適化

・民間の力を活用し、紙ベースであった勤怠管理の電子化や、固有職員の人事給与計算等を外部委託することで総務事務の負担の軽減に努めた。

・駐車場管理運営の受託事業者への事務監査回数を増やすなど、監査体制強化を図った。

・有期雇用からの転任制度を整備し、優秀な人材の確保を行い、組織の活性化やモチベーションの向上を図りつつ、受付業務の人員を見直し組織運営の最適化を図った。

これらの取り組みにより最適化を図った組織体制のもと、箕谷駐車場の利活用について、可能な用途等を調査・検討するとともに、利用の低迷する駐車場の利用推進を図った。

(3) 市政への貢献・市民への還元状況

- ・神戸市の安全かつ円滑な道路交通を確保するため、根幹となる幹線道路並びに都心部の駐車場を適正に維持管理している。
- ・災害時においては、道路整備特別措置法に基づき、神戸市と「災害時等における相互協力に関する協定書」を締結し、神戸三田線等の通行止めの際して、六甲北有料道路や山麓バイパスを適宜、無料開放できるよう、対応している。
- ・令和4年（2022年）7月にホームページをリニューアルし、渋滞情報をはじめとした必要な情報の見つけやすさ、内容の分かりやすさの向上、即時更新によるスピード化が実現したほか、道路公社の役割や取り組み事例を紹介するページを追加し、社会的役割の丁寧な説明に努めた。
- ・道路公社における、すべり止め効果のある多機能型排水性舗装や、事故等への迅速な対応が可能となるウェアラブルカメラの導入などにより、利用者の安全向上に寄与した。また、これらの実績を神戸市に情報提供し、新たに導入・検討され、市の道路管理の向上に寄与している。

■外郭団体マネジメント推進本部の評価

(1) 総合的意見

六甲3路線改築事業を着実に実施することで、防災機能・道路利用者の安全性の向上に取り組み、緊急輸送道路としての役割を果たすことができている。また、道路・駐車場の利用台数は、コロナ禍前に近い水準まで回復させるなど、計画的に取り組んでいる。一方、駐車場事業においては、荒田公園・大倉山駐車場の経営状況は依然厳しいものがあり、利用者目線に立ったさらなる需要喚起策の検討が必要である。今後も建設事業費の着実な償還に向けて、一層の経営改善に取り組むとともに、引き続き、安全・安心なサービスの提供に努めること。

(2) 数値目標の状況

評価項目	評価・指導
中長期的ミッション	六甲3路線改築事業を着実に実施することで、防災機能・道路利用者の安全性の向上に取り組んでいる。また、市との連携を図りながら、円滑な交通ネットワークの形成に努めている。
短期的ミッション	事業収入の下振れ懸念があるなか、さまざまな利用促進策により道路・駐車場の利用台数は、コロナ禍前に近い水準まで回復している。しかし、荒田公園・大倉山駐車場の経営状況は依然厳しいものがあり、利用者目線に立ったさらなる需要喚起策の検討が必要である。
団体目標	市との連携のもと、安全・安心・快適な有料道路及び駐車場の提供や数値目標など、令和4年度の団体目標については達成しているが、荒田公園・大倉山駐車場の経営状況は依然厳しいものがあり、利用者目線に立ったさらなる需要喚起策の検討が必要である。
市への貢献・市民への還元状況	六甲有料道路及び山麓バイパスなど、市街地と西神・北神地域を結ぶ幹線道路を適切に維持管理することで、市民生活に貢献している。また、災害時における六甲有料道路等の無料開放といった社会的役割も果たしている。さらに、道路公社が先進的に取り入れた技術の知見を、神戸市の道路管理に活かしている。

(3) 今後の方向性

- 団体の存廃も含めた検討を要する団体 継続的な見直しを要する団体 取り組みが着実に実施され成果が上がっている団体